

環境調査結果のお知らせ

平成24年2月14日午前9時半から野見湾・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温15～16℃、塩分33台、溶存酸素濃度7～8mg/lでした。
透明度は6～11mで、貝類に対して有害な種が湾奥部でやや多く確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は14.58～15.86℃、塩分は33.15～33.73でした。前回調査時(H24.1.13)と比べて、水温は1～2℃低下、塩分は同程度でした。

溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は7.26～8.23mg/lで、前回と同程度でした。

プランクトン(表4・5)

透明度は6.0～10.5mで、前回と同程度でした。検鏡の結果、貝類に対して有害なヘテロカプサ・サーキュラリスカーマが、湾奥部でやや多く確認されました。

湾内では各種プランクトンが増加傾向にあります。海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

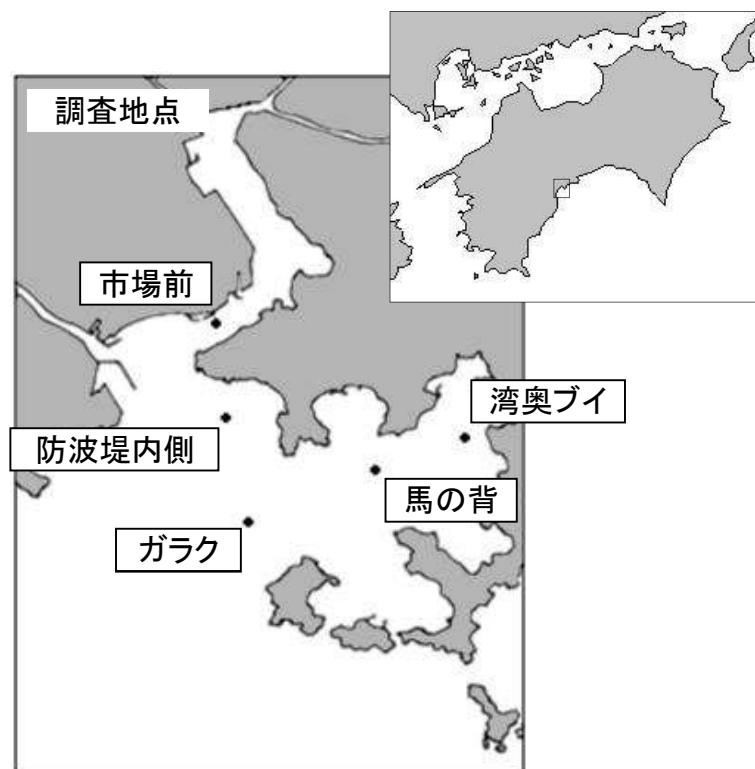


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H24.1.13)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	14.67	15.59	15.82	14.58	15.36	17.18	▲ 1.82	14.65
2m	14.78	15.60	15.84	14.65	15.41	17.19	▲ 1.78	14.71
5m	15.25	15.57	15.86	14.76	15.56	17.07	▲ 1.51	14.99
10m	15.16	15.49	15.83	14.91	15.49	16.98	▲ 1.49	-
B-1m	15.03	15.04	15.79	15.28	15.29	16.61	▲ 1.32	15.05

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H24.1.13)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.35	33.68	33.70	33.15	33.58	33.77	▲ 0.20	32.77
2m	33.47	33.69	33.71	33.24	33.62	33.78	▲ 0.16	32.92
5m	33.67	33.69	33.72	33.37	33.69	33.78	▲ 0.09	33.37
10m	33.66	33.69	33.71	33.46	33.69	33.80	▲ 0.11	-
B-1m	33.67	33.66	33.73	33.63	33.69	33.77	▲ 0.08	33.45

表3 溶存酸素濃度(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H24.1.13)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.76	8.04	7.84	8.23	7.88	8.02	▲ 0.14	7.97
2m	7.59	7.92	7.70	8.11	7.74	7.90	▲ 0.16	7.86
5m	7.33	7.81	7.64	8.02	7.59	7.68	▲ 0.09	7.74
10m	7.26	7.70	7.53	7.94	7.50	7.40	0.09	-
B-1m	7.34	7.37	7.48	7.66	7.40	7.24	0.16	7.66

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.5	24.9	15.7	18.5	8.4
透明度	7.0	9.5	10.5	6.0	4.0
前回透明度	7.0	9.5	10.0	6.0	4.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロカプサ・ サーキュリスカーム	プロロセントラム属 (マイカンス、 トリエステナム)	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、 スピラレ)	ゴニオラックス・ ポリグラマ	ミリオネクタ・ ルブラ
湾奥ブイ	0m	11	13	13	24	7
	2m	110	9	12	15	3
	5m	12	9	7	3	0
馬の背	0m	3	6	7	1	5
	2m	4	10	3	0	5
	5m	2	7	9	1	2
ガラク	0m	2	2	1	1	7
	2m	2	1	3	0	0
	5m	0	0	2	0	1
津波防波堤内側	0m	0	1	2	0	8
	2m	1	1	3	0	3
	5m	1	2	2	3	0
市場前	0m	1	2	0	0	0
	2m	3	0	1	0	0
	5m	0	1	0	0	0